



いよいよ今月から「令和」になりますね。令和、良い響きです。仕事上、戒名を授けていますが、漢字の意味や組合せなど色々悩みますが、一番は響きを気にしています。元号に負けない佳き日を過ごしたいですね。

## 明王

良啓

不動明王と言う仏様をご存知でしょうか？

平安時代、お大師様が大唐で

隆盛を誇った密教仏を日本へ

請来されました。奈良時代の仏様は

顔は1つ、手足も2本ずつと

私達と同じ容姿をしています。

ところが、密教仏は、憤怒形に多面多臂（顔も手足もたくさん）、

肌の色は、赤や青ときいています。更に手には剣やドクロなど恐ろ

しい持ち物を携えています。それまで仏様と言えば、優しいお顔

の仏様だけを拜んできた日本人は、それは驚いた事でしょう。

なぜ、密教仏はこの様に異形なのでしょう？

それは、喜怒哀楽全てを肯定する懐の広さが密教の根底に流れて

いるからです。例えば、子供を叱る親を想像してください。何

でも優しくするだけが愛情でしょうか？違います。時には、厳し

く接することも愛情です。大切な事は、その中に慈悲心を持ち続

ける事です。強面の不動明王ですが、実は大日如来の化身（教令

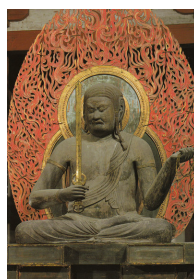
輪身）です。あの怒りの形相の下には、如来の慈悲心が隠れてい

るのです。

密教を通じて、「こんな生き方もして良いんだよ」と新しい価値

観を日本に持ち込んだお大師様。新元号になり、私達も新しい価

値観、生き方を選びたいものです。



本山東寺の不動明王  
(日本最古)

いあいさつ

三原直子

はじめまして。二月下旬より寺務員として勤めさせて頂いております三原と申します。

生まれは高知県室戸市。若き日の弘法大師が厳しい行を遂げたといわれる御厨人窟の近くです。学生時代を高知市内で過ごした間は、通学中やドライブ中に白装束のお遍路さんとよくすれ違い、真言宗を身近に感じて育ちました。実家が真言宗だったこともあり、当神宮寺に対し以前から親しみと懐かしさを感じておりましたので、ここで勤めさせていただけることに並ならぬ感謝とご縁を感じております。寺務員としてはまだまだ未熟で、ご不便をおかけするかと思いますが、何卒温かい目でお身守り下さい。どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、神宮寺では今、“お寺を身近に”をスローガンに、地域の方々にとって有意義かつ穏やかなひと時を過ごして頂けるよう、職員一同、日々意見交換をしております。

そういうわけで、私は今、消しゴムハンコを鋭意制作中なのです。モチーフはお坊さんが使う法具の数々、住職の良啓さんが使うかっこいい金剛杵、一度は持ってみたい錫杖、宝剣などなど、書物の絵を映しては彫る日々。写経をしているような気分です。出来上がりしましたら境内にご用意しますので、是非お手に触れてご覧になってくださいね。